

# 編修趣意書

## 教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-209	小学校	道徳科	道徳	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 214	どうとく 2 きみが いちばん ひかるとき		

## ▶ 1. 編修の基本方針

# これからの時代を生き抜く 子どもたちのために。

人格の完成を旨とする教育基本法に基づき、

これからの学校には、一人一人の児童が、

- ・自分のよさや可能性を認める
  - ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
  - ・多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越える
  - ・豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる
- ことが求められています。

私たちは、これらの実現を旨として、3つの方針に則って教科書を編修しました。



特色

1

## 主体的な学びを支える

...

主体的に学びに向かうことができるよう、道徳科は何を学ぶ教科なのかを、一人一人がしっかりと自覚できるようにしました。また、1年間の学びを見渡したり、行動に結び付けたりできるように工夫しました。



特色

2

## 対話から生まれる「気づき」を楽しむ

...

道徳的価値に関わる話題で話し合うことは楽しいと実感できるように、普段から、道徳的な話題で話し合い活動に取り組んでみようと誘いました。対話を重ねることで、新たな考えに気づき、自分を見つめられるように工夫しました。



特色

3

## 現代的な課題と向き合う心を育む

...

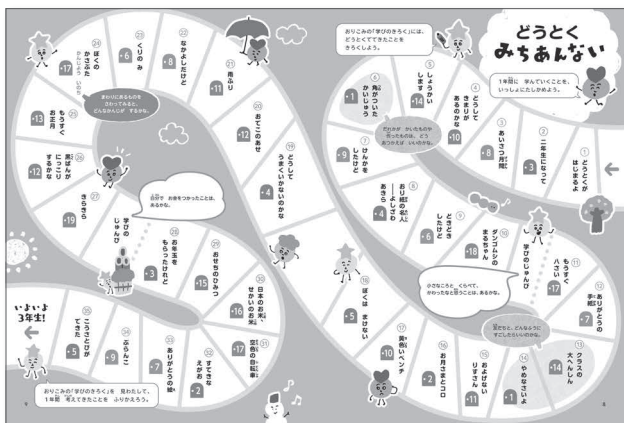
現代的な課題（「いじめ問題」「情報モラル」）と道徳の学びを結び付けられるようにしました。これからの時代を生き抜いていく児童が、現実にある課題を意識し、自分の生き方と関わらせながら、考えを深めることができます。

# 特色 1 主体的な学びを支える

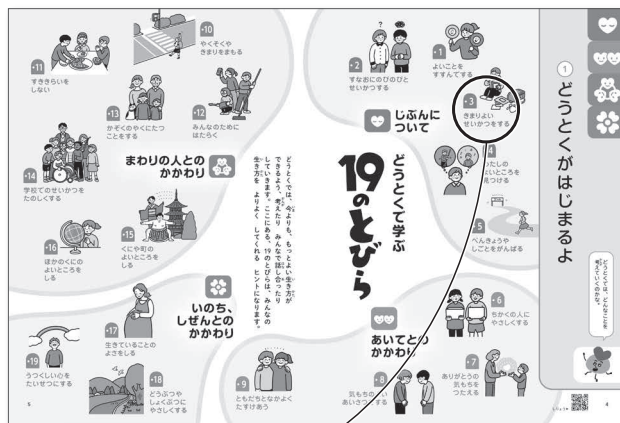
## ✓ 第1教材 「①どうとくがはじまるよ」

### 何を学ぶのかがわかる

- ・第1教材では、これから1年間、道徳科で何を学んでいくのかをはっきりと意識できるように示しました。
- ・19の内容項目を、19のとびらになぞらえ紹介しました。各教材の冒頭に、内容項目をとびらのマークと共に提示することで、今日の1時間には、何について考えるのかを自覚できます。
- ・「どうとくみちあんない」では、期待感をもって1年間の学びを見通せるような紙面としました。ここで、ユニット(p.4参照)の位置や、事前に学習しておくことが有効な教材について、確認することができます。



p.8-9



p.4-5

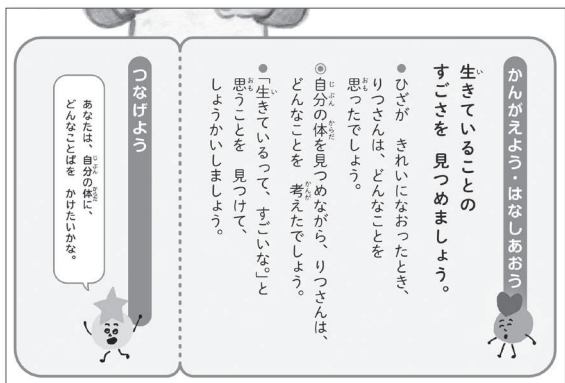


教材冒頭に、内容項目のとびらを提示しています。

## ✓ てびき 「つなげよう」

### 次の行動に結び付ける

- ・各教材に示したてびきの「つなげよう」では、1時間の授業で考えたことを、日常生活の中でもう一度考え直したり、考えたことを行動に移したりすることを促しています。道徳科の学びを、「自分のもの」にできるように工夫しています。



p.109「⑭ぼくの かさぶた」 てびき

## ✓ 学びのじゅんぴ

### 事前準備で、より深い時間を

- ・年間2か所に、「学びのじゅんぴ」を位置づけています。授業のめあてに関わって、事前に経験を思い起こしておいてほしいことを示すことで、授業に、積極的に参加したいという意欲を膨らませることができると思いました。



p.48「⑩もうすぐハッピー」 学びのじゅんぴ

✓ みんなで気持ちよく話し合うためのこつ

## 相手の考えを丁寧に受け止める

- ・多様な他者と対話することで、初めて気づけることがあります。広がる世界があります。その対話を円滑に進めるための取り組み方を示しました。
- ・第1教材の中で、「みんなで 気持ちよく 話し合うための こつ」を紹介しています。この「こつ」では、相手の存在や意見を受け止めることに重点を置いています。この「こつ」を試しながら、「やってみよう」に挑戦します。気持ちよくみんなで話し合うことで、新たな「気づき」が生まれることを知り、道徳科の学びをスタートすることができます。

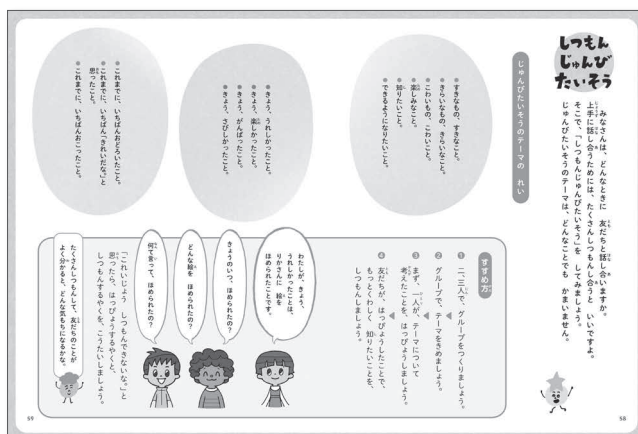


p.6-7 「みんなで 気持ちよく 話し合うための こつ」

✓ しつもんじゅんびたいそう

## みんなで話し合うことの楽しさを味わう

- ・4月に、みんなで気持ちよく話し合う「こつ」を意識した児童が、9月に「しつもんじゅんびたいそう」に出会います。普段から対話の楽しさを味わえるような機会をつくろうという試みです。
- ・ここでは、対話しながら道徳的価値についての考えを深めていくための、対話の練習を促しています。さまざまなテーマを巡って、互いの考えを理解し合おうとする過程を積み重ねることで、問い合うことの楽しさを味わってもらいたいと願っています。
- ・日々の生活の中で取り組むことで、児童の話し合いに対する意識が変わっていくことをねらっています。

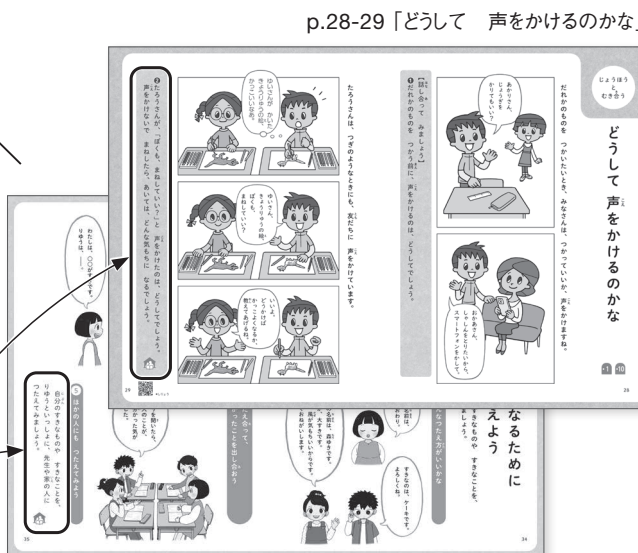


p.58-59 「しつもんじゅんびたいそう」

✓ 家の人といっしょに考えてほしいこと

## 授業で考えたことを、家の人とも話し合う

- ・授業で道徳的価値について考えたことを、家庭でも話し合ってもらいたいと、家庭との連携を促すマークを示しました。
- ・特に「情報モラル」に関わる話題は、家庭と協力して考えていくことが効果的な課題です。保護者といっしょに、情報機器との関わりについて考えてほしいと思います。



p.34-35 「友だちと なかよくなるために 自分のことを つたえよう」



「いじめ問題」「情報モラル」

ユニットで、テーマを探求する

- ・現代的な課題として重要とされる「いじめ問題」「情報モラル」の2つのテーマを取り上げ、教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を構成しました。
- ・コラムでは、課題を自分のこととして受け止め、自己の生き方についての考えを深められるよう配慮しました。



▶ 2. 上記の記載事項以外に意を用いた点や特色

全ての児童にとって使いやすく、わかりやすく

特別支援教育への配慮

- ・教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の観点から、専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。
- ・必要に応じて、挿絵に登場人物の名前を添えることで、挿絵に描かれた人物が、本文にあるどの登場人物を表しているのか、わかりやすくしました。

人権上の配慮

- ・教科書全体において、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別の偏りがなく、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、記述には充分配慮しています。また、人権教育の専門家に全面的な校閲をお願いしました。

学習上の配慮

[判型について]

- ・B5判より横幅を10ミリ広くすることで、持ち運びや

すいサイズのまま、文字や挿絵を大きく示しています。児童の負担を最小限におさえるよう配慮しました。

[文字について]

- ・文字の大きさは、発達の段階、教材の内容によって、十分に配慮しました。
- ・本文はユニバーサルデザインにも配慮した、オリジナルの教科書体活字を用いました。

[表記について]

- ・当該学年の配当漢字には、全て振り仮名を付しました。
- ・読みの負担を軽減するため、熟語の混ぜ書きを極力避けました。そのため、当該学年より上の学年の配当漢字が掲出される場合には、その全ての漢字に、振り仮名を付しました。

[文章の区切りについて]

- ・てびきの問いは、意味のまとまりで改行することで、児童が問われていることの意味をつかみやすくなりました。

### ▶ 3. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁		
	巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった児童へのメッセージを掲載した。	第一号、第二号	表2-1		
教材	1 どうとくがはじまるよ	真理を求める態度を養い、互いの価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、道徳の時間に行うさまざまな活動や学びを紹介する中で、疑問を追求していく態度や、他者を尊重しながら意見交流すること、自分自身を見つめることの重要性を感じることができるような教材を配置した。	第一号、第二号	4-9		
	2 二年生になって	豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	10-13		
	12 ありがとうの手紙			53-57		
	27 きらきら			118-125		
	33 ありがとうの絵			146-149		
	8 おり紙の名人——よしざわ あきら	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	36-39		
	19 どうして うまくいかないのかな			88-91		
	3 あいさつ月間			14-17		
	6 角がついた かいじゅう	他者との関わりの中で、自己を見つめ、自主及び自律の精神を養うことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	24-27		
	14 やめなさいよ			64-66		
	16 お月さまとコロ			73-77		
	18 ぼくは まけない			82-85		
	22 なかよしだけど			99-101		
	28 お年玉を もらったけれど			126-130		
	32 すてきなえがお			142-145		
	35 こうさとびができた			156-159		
	4 どうしてきまりが あるのかな			自身の生活と社会との関連を意識しながら、社会に奉仕し働くことを尊ぶとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号、第三号	18-20
	17 黄色いベンチ					78-81
	20 おでこのあせ	92-95				
	25 もうすぐお正月	111-115				
	26 黒ばんが にっこりするかな	116-117				
	5 しょうかいします	他者との関わりの中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第三号	21-23		
	7 けんかをしたけど			30-33		
	9 どきどきしたけど			40-43		
	13 クラスの大へんしん			60-63		
	15 およげないりすさん			68-72		
	21 雨ふり			96-97		
	23 くりのみ			102-105		
	34 ぶらんこ			150-155		
	10 ダンゴムシのまるちゃん	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第四号	44-47		
11 もうすぐ八さい	48-52					
24 ぼくの かさぶた	106-109					
31 空色の自転車	138-141					
29 おせちのひみつ	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第五号	131-133			
30 日本のお米、せかいのお米			134-137			
特設ページ	(こころを かよわそう) 友だちと なかよくなるために 自分のことを つたえよう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、互いの価値を尊重しながら温かい人間関係が築けるようなページを設けた。	第一号、第二号	34-35		
	しつもんじゅんびたいそう	さまざまなテーマを基に、他者を尊重しながら意見を交流し、真理を求める態度を養い、互いの価値を尊重していく能力を伸ばすことができるような、対話活動のページを設けた。	第一号、第二号	58-59		
	なんだろう なんだろう	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるようなページを設けた。	第一号	86-87		
	かんじょう いのち	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切にすることを培うことができるようなページを設けた。	第四号	110		
	学びのきろく	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返り、記録するページを設けた。	第二号	折り込み		

# 編修趣意書

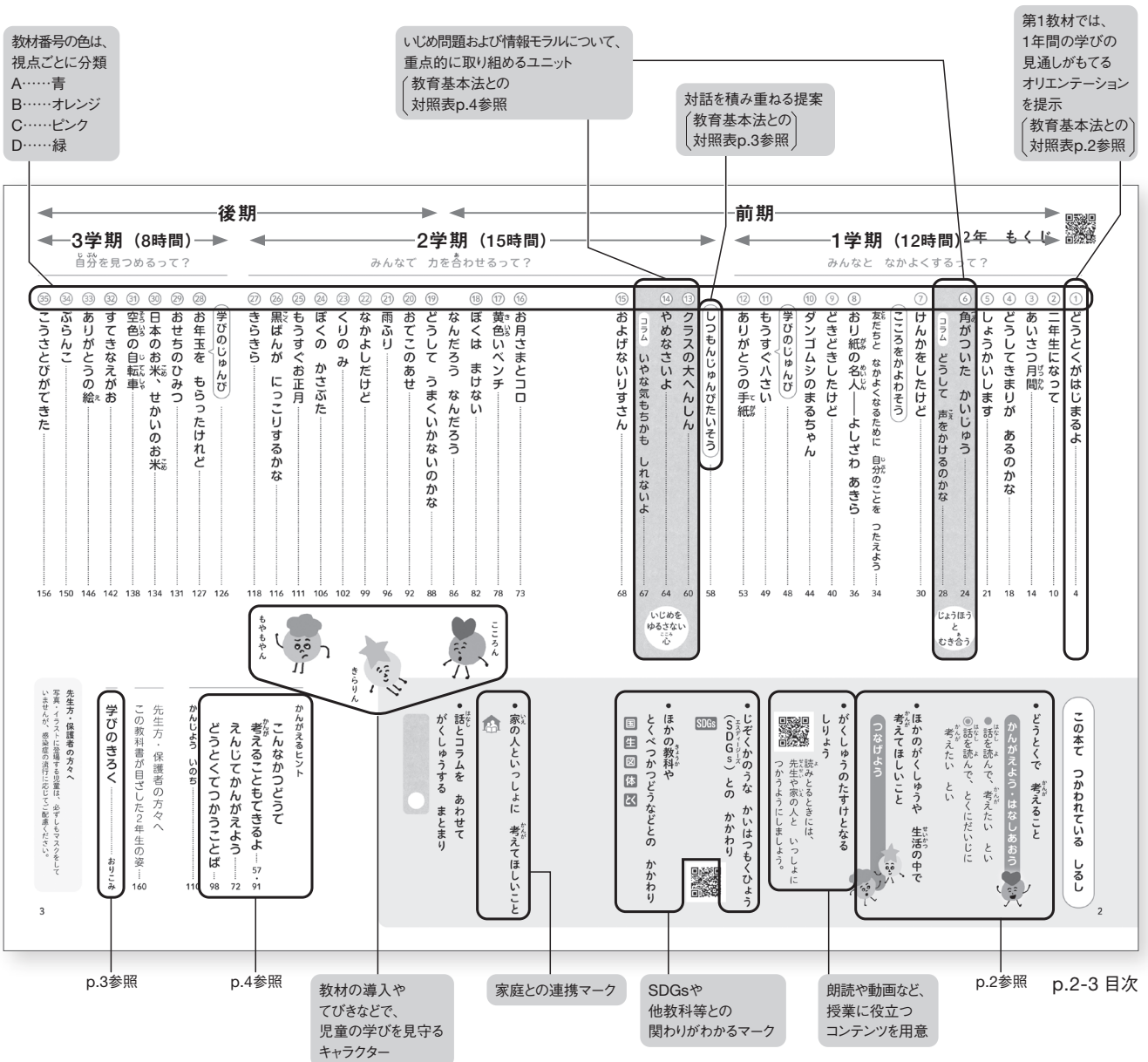
## 学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-209	小学校	道徳科	道徳	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 214	どうとく 2 きみが いちばん ひかるとき		

### ▶ 1. 編修上特に意を用いた点や特色

## 特色 1 児童が主体的に道徳性を養うことができる年間構成

児童の発達の段階や内容項目の特質に鑑み、1年間の学びを通じて、児童が着実に道徳性を養えるような構成を目ざしました。





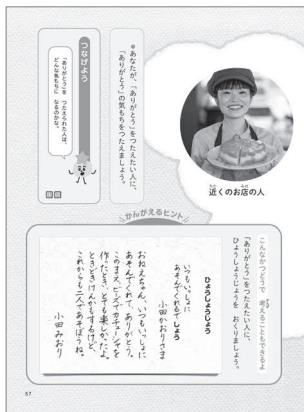




✓ 多様な学習活動で児童の学びを深める「かんがえるヒント」

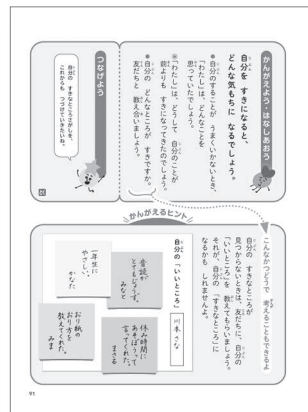
・深い学びへと誘うために、さまざまな学習活動を提案し、豊かな学びにつなげられるよう工夫しました。

賞状を書く活動の提案



p.57 「こんなかつどうで考えることもできるよ」

付せんを使った交流の提案



p.91 「こんなかつどうで考えることもできるよ」

役割演技の提案



p.72 「えんじてかんがえよう」

気持ちを表す言葉の紹介



p.98 「どうとくでつかうことば」

✓ 自分に引き寄せて考えることができる「かんじよう いのち」

・「生命の尊さ」に重点を置き、1年間に3つの教材を用意しています。その中の1つに、児童が、生命の尊さを実感できるような活動として、「かんじよう いのち」を提案しています。



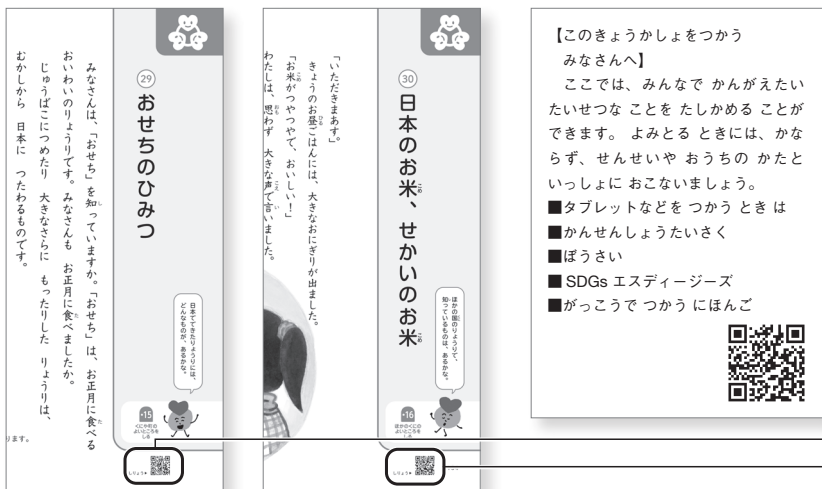
p.110 「かんじよう いのち」



p.106-109 「⑳ぼくの かさぶた」

✓ 児童の思考を広げ深めるデジタルコンテンツ

表4



p.131-133 「㉑おせちのひみつ」

p.134-137 「㉓日本のお米、せかいのお米」

・二次元コードが付してある教材には、授業の中で活用できる動画などの資料や、臨場感あふれる朗読など、児童が興味、関心をもって視聴できるコンテンツを用意しています。また、家庭との連携などの観点から、新しい生活様式や防災、SDGsに関わることなど、他教科や日常生活にも関連するコンテンツを併せて用意しています。

「㉑おせちのひみつ」では、さまざまなおせち料理の写真を、「㉓日本のお米、せかいのお米」では、お米を使った世界の料理の写真を参照することができます

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当頁	配当時数	配当学期	
	視点※1							内容項目
	A	B	C	D				
巻頭詩					表2-1			
みんなと なかよくする って？	1 どうとくが はじまるよ	○	○	○	○	内容項目を限定しない	4-9	一 学 期 12 時 間
	2 二年生になって	○				節度、節制	10-13	
	3 あいさつ月間		○			礼儀	14-17	
	4 どうしてきまりが あるのかな			○		規則の尊重	18-20	
	5 しょうかいします ※2			○		よりよい学校生活、集団生活の充実	21-23	
	6 角がついた かいじゅう	○				善悪の判断、自律、自由と責任	24-27	
	〈コラム〉 どうして 声をかけるのかな	○		○		善悪の判断、自律、自由と責任／規則の尊重	28-29	
	7 けんかをしたけど		○			友情、信頼	30-33	
	〈ころを かよわそう〉 友だちと なかよくなるために 自分のことを つたえよう			○		よりよい学校生活、集団生活の充実	34-35	
	8 おり紙の名人——よしざわ あきら	○				個性の伸長	36-39	
	9 どきどきしたけど		○			親切、思いやり	40-43	
	みんな 力を 合わせる って？	10 ダンゴムシのまるちゃん			○		自然愛護	
学びのじゅんぴ				○		生命の尊さ	48	
11 もうすぐ八さい							49-52	
12 ありがとうの手紙			○			感謝	53-57	
しつもんじゅんぴたいそう ※2		○	○	○	○	内容項目を限定しない	58-59	
13 クラスの大へんしん				○		よりよい学校生活、集団生活の充実	60-63	
14 やめなさいよ		○				善悪の判断、自律、自由と責任	64-66	
〈コラム〉 いやな気持ちかも しれないよ		○		○		善悪の判断、自律、自由と責任／よりよい 学校生活、集団生活の充実	67	
15 およげないりすさん				○		公正、公平、社会正義	68-72	
16 お月さまとコロ		○				正直、誠実	73-77	
17 黄色いベンチ				○		規則の尊重	78-81	
自分 を見 つめ る って？		18 ぼくは まけない	○				希望と勇気、努力と強い意志	82-85
	なんだろう なんだろう	○				個性の伸長	86-87	
	19 どうして うまくいかないのかな	○				個性の伸長	88-91	
	20 おでこのあせ			○		勤労、公共の精神	92-95	
	21 雨ふり			○		公正、公平、社会正義	96-97	
	どうとくでつかうことば						98	
	22 なかよしだけど		○			礼儀	99-101	
	23 くりのみ		○			親切、思いやり	102-105	
	24 ぼくの かさぶた			○		生命の尊さ	106-109	
	かんじょう いのち			○		生命の尊さ	110	
	25 もうすぐお正月			○		家族愛、家庭生活の充実	111-115	
	26 黒ばんが にっこりするかな			○		勤労、公共の精神	116-117	
27 きらきら				○	感動、畏敬の念	118-125	後 期 17 時 間	
学びのじゅんぴ	○				節度、節制	126		
28 お年玉を もらったけれど						127-130		
29 おせちのひみつ			○		伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	131-133		
30 日本のお米、せかいのお米			○		国際理解、国際親善	134-137		
31 空色の自転車				○	生命の尊さ	138-141		
32 すてきなえがお	○				正直、誠実	142-145		
33 ありがとうの絵		○			感謝	146-149		
34 ぶらんこ		○			友情、信頼	150-155		
35 こうさとびができた	○				希望と勇気、努力と強い意志	156-159	三 学 期 8 時 間	
合計時数						35		

※1 視点の内容 A：主として自分自身に関する事 B：主として人との関わりに関する事 C：主として集団や社会との関わりに関する事  
D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

※2  はユニット構成となっていることを示す。